

外部ヒアリング実施に関するアンケート結果（村職員）

1. 「事業概要調書」の内容は仕分け作業を行う上で、適切に表現できたと思いますか。

1. 概ね適切である	21人	91.4%
2. 適切でない	1人	4.3%
3. わからない	1人	4.3%
合計	23人	100.0%

【理由】

1. 概ね適切である

- ・担当者が適切に伝える事ができていたと思う。
- ・今後の検討課題も含まれていたから。
- ・調書自体への質問も少なかったので良かったと思う。
- ・事業に対する要点やポイントが整理できた。
- ・事業を継続した場合、廃止した場合など、将来的な動向まで表現できた。
- ・現状はそれなりに表現されている。
- ・簡潔に説明するという点では適切だったと思う。
- ・「分かりやすく示す」ためには、極力文字数を少なくするのが一番と思うが、事業の背景等の補足が必要だった。

2. 適切でない

- ・相手がイメージできるような説明ができなかったと思う。

3. わからない

- ・調書を説明するのではなく、議会の取り組みを前面に説明したから。

2. 委員への説明・質疑応答は、適切に行うことができましたか。

1. 概ね良かった	13人	56.5%
2. やや不満	8人	34.8%
3. うまくできなかった	2人	8.7%
合計	23人	100.0%

【理由】

1. 概ね良かった

- ・適切にできたと思う。
- ・説明できない要素がなかったから。
- ・食生活改善推進協議会とは何か（意義・役割等）ということで、委員の方々に理解して頂くのに時間がかかったように思う。事前に委員へ説明するか資料を配付するなどすれば、もう少し事業の中身の検討が深まったと思う。
- ・概ね理解してもらえたと思う。
- ・今後の改善策である口座振替などの新システムを導入など、将来的なことも活かして良かった。
- ・現状について理解してもらえたと思う。

2. やや不満

- ・各団体の職務内容だけでなく、目標や目的達成のためのはっきりとした額を考えていなかったから。
- ・直接、団体の方にも来てもらえばよかったと思う。はっきりした回答ができないところもあったから。
- ・施設が設置された時の国の施策背景などが、うまく伝わらないし理解されにくい。
- ・委員も事前に事業概要を調べた上で質問してほしい。
- ・もう少し簡潔に説明できたと思う。

- ・自分なりに精一杯答えたが、質問した方が不満そうな顔をしていたので、私の説明に納得してくれなかったのではないかと思います。
- ・事前に事業内容等を勉強したつもりだが、日々の積み重ねが大事だと痛感した。
- ・うまく説明できなかった。

3. うまくできなかった

- ・求められている答えが返せたかどうかわからない。
- ・経験不足

3. 事業仕分けでの担当事業に関する議論・結果について、どう感じましたか。

1. 概ね納得感である	20人	87.0%
2. やや不満である	2人	8.7%
3. 大いに不満である	1人	4.3%
合計	23人	100.0%

【理由】

1. 概ね良かった

- ・行政側でも感じている事と一致していたように思う。
- ・意見については、こちらにも納得する部分がたくさんあった。
- ・委員の方々にも概ね理解いただいたと考える。
- ・指定管理者への移行について理解してもらえたので良かったと思う。
- ・結果が実際にそうなるのかは分からないけど、言われるとその通りだなと思うから。
- ・委員の意見がほぼ同じで、議員への期待が強いと改めて感じた。
- ・日々の業務において気が付かない点が意見として出され、色々な考え方があることに気が付いた。
- ・職員とは少し違った視点でいろいろな意見を出していただき、納得する場面も多かった。
- ・議会、議員報酬などに疑問を持っている委員もあり、もっと分かりやすい議会活動を村民に周知させたい。

2. やや不満

- ・議論の的が何なのかわかりにくい。
- ・業務内容が理解されているという前提が不足。

3. 大いに不満である

- ・未記入

4. このような事業仕分けに基づき事業を見直すことについて、どう思われますか。

1. 非常に意義がある	16人	69.7%
2. あまり意義を感じない	1人	4.3%
3. わからない	5人	21.7%
4. 無回答	1人	4.3%
合計	23人	100.0%

【理由】

1. 非常に意義がある

- ・外部の意見を聞くことは大事である。
- ・ホームページの方向性や広報誌に関する経費について参考になった。
- ・今後も「協働のむらづくり」を進めるためには、外部の意見を聞きながら住民を巻き込んでいくことが必要だと感じた。
- ・生の住民の声が聞けたと思う。この声が見直しに役立つと思った。
- ・客観的指摘が得られた。
- ・事業を考え直す良い機会である。
- ・第3者の意見を聞くことができた。

- ・村も事務事業の見直しが必要と感じる。
2. あまり意義を感じない
 - ・特定の事業だけでなく、長い期間（1年でも…）をかけて全ての事業をするのであれば意義があると思う。住民によく知ってもらえると思う。
 3. わからない
 - ・必要なら予算を確保し、有意義な研修をすべきとの意見をいただいたが、財政が悪化中、住民に理解されるのか、十分な周知が必要になる。その手法については、これから検討できるのか不安もある。
 - ・法令に基づき実施している事業を、住民等の意見をいただき検討する（内容等）ことは良いと思うが、そもそも村でやるべきかどうかという所まで決定するのはどうかと思う。
 - ・今のままでは何とも言えない。
5. その他、今後の取組み等に向けての意見や感想、提案などを自由に記入してください。
 - ・毎年、継続してほしい。
 - ・最終的に住民が全てできれば良いと思うが、それは今でなく、下水道接続がある程度進み、町内会で行えるようになった時期を見てからでよいのではないか。
 - ・今後のむらづくりの指針となる「佐井村むらづくり基本条例」を今一度、勉強し直したいと感じた。住民の権利と責任、住民がむらづくりの担い手、「協働」を再確認した機会でした。
 - ・説明不足だったとは思いますが、思っていたよりも質問や意見が多く、普段から自分が感じていたことの解決につながり、事業への取り組み方について、もう一度、よく考えてみる良い機会になりました。
 - ・研修を通じて議員の質の向上を図ることと力強い提言があったので、必要な研修は行って行きたい。
 - ・村職員だけの説明では、業務内容を十分説明することができない。委員からは補助金の削減が求められているように受けとめられる発言が多い。改善策があったら意見を述べて頂きたいと思う。
 - ・C班を見学したが、予想外の意見を聞くことができたので、今回、携わることのなかった職員にも経験してもらいたいと思う。
 - ・調書作成からヒアリングまで担当者は大部時間を割いたと思う。日頃の業務の中で、今後も続けていくには、ヒアリングに係る作業を考えるとどうかと思う。
 - ・来年度以降も実施する予定はあるのでしょうか。